

今後のリユース促進に向けて

1. 平成 25 年度の取組み概要

市町村とリユース事業者との連携によるモデル事業として 2 地域で実施

(群馬県前橋市)

- 市民の方に、家庭に眠る“使えるけど使わない品物”をイベント当日に持参いただき、集まったものを無料で提供・交換するイベント「リユース宝市」を 12 月 21 日に実施。市民団体と連携してイベントを開催。
- 来場者は約 800 名、リユース品を持参した方は約 600 名、事前収集及び当日持ち込み合わせて 4,970 kg (推計) のリユース品が陳列され、78.8%に相当する 3,195 kg (推計) がリユース品として持ち帰られた。

(神奈川県葉山町)

- 町民にリユース可能な製品を持ち込んでいただき、欲しいものを無料で持ち帰ってもらうイベント「くるくる市」を 12 月 15 日、1 月 19 日、2 月 9 日の 3 回実施。市民団体と協力してイベントを開催。
- 3 回の合計で 900 名の来場者であり、3,570 kg の持ち込みのうち、約 70%にあたる 2,480 kg が持ち帰りされた。残った製品のうち、948.6 kg をリユース事業者に引渡し、うち 774.9 kg がリユース事業者により商品化。

平成 24 年度・平成 23 年度のリユースモデル事業のフォローアップ調査

- 平成 24 年度にモデル事業として実施した 3 地域について、その後のリユースの取組状況を調査・把握した。
- 平成 23 年度にモデル事業として実施した 6 地域について、その後のリユースの取組状況を調査・把握した。

リユース業界を取り巻く環境関連法の法的環境の整理

- 分科会にて、リユース業界を取り巻く環境関連法の法的環境の整理を行い、事業者向け及び消費者向けのちらしを作成。

2. 今後のリユース促進に向けた取組み（アイデア）

- ・以下に示す今後の取組み（アイデア）について、追加のアイデアや平成 26 年度に実施すべきことについてご意見いただきたく。

（1）「使用済製品等のリユース促進事業研究会」の開催

< 検討議題（案） >

- ・市町村とリユース事業者の連携によるモデル事業
- ・リユース業界団体との意見交換の継続実施
- ・地方自治体におけるリユースの取組み状況の調査（アンケート調査など）
- ・衣類などの海外リユースの状況についての実態調査
- ・消費者の「リユースに関する意識・行動の推移・変化」に関する調査 / など

（2）市町村とリユース事業者の連携によるモデル事業の拡大・取りまとめ

- ・リユースモデル事業の成果を踏まえて、引き続き地方自治体等から公募・提案を募り、新たな取組みを実証。
- ・平成 23 年度から実施しているモデル事業の成果を総括的に取りまとめ、他の自治体への展開・波及を図るための方策を検討。

（3）「リユース業界を取り巻く環境関連法の法的環境の整理に関する分科会」の中で残された課題・問題点の継続的な検討

- ・分科会で検討した事項のうち、残された課題・問題点について継続的に検討。

（4）リユース促進に向けた情報発信・普及啓発の実施

- ・モデル事業実施地域をはじめとする地方自治体、リユース業界団体などとの連携による、リユース促進に向けた情報発信や普及啓発を実施。
- ・例えば、リユース事業者のビジネスモデルを紹介するセミナー開催、リユース事業者、自治体等と連携した「リユースの日」でのイベント開催など。

（5）更なるリユース促進に向けた基礎調査

海外のリユース事業・促進施策等に関する調査

国内から輸出されるリユース品の海外での活用状況（例えば、衣類など）。海外におけるリユース促進に向けた制度などを調査。

消費者の「リユースに関する意識・行動の推移・変化」に関する調査

消費者がリユースする中でも「使えるもの」と「買うもの」の間に意識の違いがある。消費者にとってのリユースに関する意識・行動について調査。

インターネットオークション、宅配リユースに関する詳細調査

利用者・流通量が増加傾向にあると考えられるインターネットオークション、宅配リユースに関する実態・流通状況について調査。

（以上）